

中国言語文化特論Ⅰ

選択 2単位

原田 二郎

1. 授業の概要(ねらい)

「中国の歴史と思想・文学」。
テキストに拠りながら、前期は歴史の概観、後期はそれをもとにして、思想と文学の概観を試みる。
大学院生向けにテキスト購読を中心とする。
テキストはプリントして配布するほか、適宜必要な資料を補う。
前期は『十八史略』を読むが、現場に集まった学生諸君と相談してより良い路線を模索したい。

2. 授業の到達目標

- ・中国の歴史・思想・文学の概要を知る。
- ・次回購読箇所テーマを提示するので、各自発表できる程度まで調べて輪読に臨むこと。

3. 成績評価の方法および基準

平常点。

4. 教科書・参考文献

教科書

テキストはプリントして配布する。

5. 準備学修の内容

自分で参考文献の一つ決めて、それで授業関連の箇所を毎回予習してくると良いと思う。どれをその文献にするかは、参考図書を紹介する。
なんらかの訳文を作る授業になると思うので、毎回作成して事前に提出すること。

6. その他履修上の注意事項

受け身的な姿勢でなく、積極的な学習態度を期待する。

7. 授業内容

- 【第1回】 導入
- 【第2回】 堯・舜
- 【第3回】 夏
- 【第4回】 殷
- 【第5回】 周
- 【第6回】 管仲・晏嬰
- 【第7回】 蘇秦・張儀
- 【第8回】 商鞅
- 【第9回】 秦始皇 天下統一まで
- 【第10回】 秦始皇 統一後
- 【第11回】 漢高祖(1)
- 【第12回】 漢高祖(2)鴻門之会
- 【第13回】 垓下之戦
- 【第14回】 司馬遷の美学
- 【第15回】 まとめ